

投 稿 規 定

1. 原稿は、砂丘および乾燥地に関連のあるもので、価値ある結論を含んでいなければならない。
2. 投稿は未発表のもので、和文または英文とする。
3. 投稿原稿の筆頭著者および責任著者（Corresponding author）は日本砂丘学会の正会員に限る。共著者の場合または編集委員会が依頼した場合はこの限りではない。
4. 原稿の種類は、論文（原著論文、ノート、速報）、総説、研究資料、技術レポート等とする。原著論文は、独創的な研究で価値ある結論あるいは実験結果を含むものとする。ノートは、内容が断片的な発見であっても学術的または技術的に価値がある結果を含むものとする。速報は、内容が独創的で重要な発見または結論を含み、しかもできるだけ早く公表する必要性のあるものとする。速報は他の原稿より優先掲載されるので、後日原著論文として投稿することを原則とする。速報は英文であることが望ましい。ただし、論文については、別途定めた執筆要項と論文審査の基本方針によるものとする。
5. 論文を投稿する場合には、査読者としてふさわしいと思われる候補者3名の氏名と連絡先（所属、E-mail アドレス）を記入した文書ファイルを作成し、添付する。ただし、査読者はこれらの候補者の中から選ばれるとは限らない。
6. 原稿の採否は編集委員会が決定する。委員会は原稿の加除訂正を求めることがある。著者に対して修正を求めた原稿が、特別な事情もなく6ヶ月以内に再提出されないときは取り下げたものとみなし、審査を打ち切る。なお、受理した原稿の加除訂正は認めない。
7. 投稿原稿として、正本1部、別途定めるデジタル原稿を収めた媒体1枚に投稿票を添えて下記日本砂丘学会編集委員会宛に送る。
〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部内 日本砂丘学会編集委員会 宛
8. 投稿された論文の掲載にあたっては、別に定める経費（第1表）を著者は負担しなければならない。
9. 本誌に掲載された原稿の著作権は日本砂丘学会に属する。

第1表 論文掲載経費(平成27年7月20日改正)

1. 掲載料	規程内頁は、B5版刷り上り1頁につき4000円、超過頁分についてはB5版刷り上り1頁につき10,000円とする。ただし、学会からの依頼原稿については掲載料を免除する。
2. 別刷代	掲載された論文、総説、研究資料、技術レポートのPDFファイル（表紙なし）を著者に無料贈呈する。ただし、表紙付きを希望する場合はその代金を2000円とする。また、著者は別刷を購入することもできる。その場合の代金は、30部まで10,000円、それを超過する分の代金は、超過部数×刷り上り頁数×10円（ただし、アート紙は15円）とする。
3. 図版代	実費（トレース代、CG作成代等）を負担する。
4. 写真 印刷代	白黒写真、カラー写真ともに実費を負担する。アナログ白黒写真は1葉につき約500円、アナログカラー写真は1葉につき約25,000円、デジタル白黒写真は無料であるが、デジタルカラー写真の場合は専用紙となるため、その実費を負担する。

和文原稿の執筆要項

本要項に準拠していない原稿は受稿を拒否する場合がありますので、熟読の上、原稿を作成すること。

1. 原稿はできるだけ簡明とし、図・表なども含めて、B5版刷り上りで原著論文、総説、研究資料、技術レポート等は8頁以内、ノートは4頁以内、速報は2頁以内とする。
2. 本文は、A4版用紙に印字し、1行22文字、1頁42行、右側余白約6cmとする。5行毎に行番号を付ける。また、右側余白に図・表の挿入箇所を指定する。
3. 論文原稿の形式は、①1頁目に和文表題、和文著者名（フルネーム）、英文表題、英文著者名、和文所属、英文所属、和文キーワード5個（50音順）を記述する。②2頁目に英文摘要および英文キーワード5個（アルファベット順）を記述する。③3頁目から本文を開始する。なお、ここでいう本文とは、緒言、材料および方法、結果、考察、結論あるいは要約、引用文献を含む。④図・表を1枚ずつ独立させて印刷する。なお、図・表には表題も付ける。
 なお、総説、研究資料、技術レポート等の原稿は特に形式を定めない。
4. 表題（特に副題）は研究内容をなるべく具体的に表す。副題番号はローマ数字とする。著者名には所属名の前に付記したものと一致する番号を上添でつける。なお、責任著者（Corresponding author）には番号の後に*を挿入する。また、英文著者名には著者が慣用しているスペルを使用する。英文著者名は Given name, Family name の順とし、Family name は大文字とする。

（例1）

表題： Studies on the forms of humus accumulated in volcanic ash soils

副題： III. Relation between form of humus and soil acidity

著者名： Takeo NAGAI¹ and Taro SAKYU^{2*}

5. 著者の所属機関名と所在地の記述は次の表現を原則とする。

（例2）

- 1 鳥取大学大学院連合農学研究科（〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101）
The United Graduate School of Agriculture Sciences, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)
 - 2 鳥取大学農学部（〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101）
Faculty of Agriculture, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)
- * Corresponding author: taro_sakyu@jssdr.co.jp

6. Summary は目的、方法、結果、考察などが忠実に要約されたもので、250語以内の英文とする。

7. 章や節の表題の書き方は(例3)を参照する。書体はゴシック体太字とし、章の表題はセンタリング、節からは左寄せとする。章番号と節番号の間は1行空ける。章と節の番号の付け方は以下の例の通りとし、すべて全角とする。

(例3)

2. 実験方法

2.1 試料

2.1.1 採取場所

(1) 土壌

1) 砂

8. 句読点(, および 。) , 括弧, ハイフンは全角とする。
9. 数式の扱いは以下の通りとする。ただし, 式番号および括弧は半角とする。

(例4)

・・・は次式で表される。

$$y = ax + b \tag{1}$$

なお, (1)式では,

10. 図(写真を含む)・表の表題, 内容の説明は, 本文を参照しなくても実験条件がわかる程度に簡潔に記載する。表題および図表の番号はゴシック体全角とし, **第1図**, **第1表**のように表記する。

図表はB5版2段組の片側の段幅(7cm), あるいは1頁の幅(15cm)となることを考慮して縮小幅を指定する。なお, 図および表中の文字が縮小後8ポイント以下にならないように注意して図表を作成すること。

11. 表の書式は(例5)の通りとし, 縦線・横線は必要最小限とする。

(例5)

第1表 パラメータの設定最大値, 最小値

Para-meters	マサ土(A)		マサ土(B)		鳥取砂丘砂		島尻マージ	
	max.	min.	max.	min.	max.	min.	max.	min.
θ	0.2	0.01	0.1	0.01	0.05	0.01	0.4	0.2
α	2.0	0.005	1.0	0.05	1.0	0.005	1.0	0.05
n	5.0	1.0	5.0	1.0	7.0	1.0	3.0	1.0

12. 箇条書きには, ①, ②や(a), (b)を使用する。英字を使用する場合は, 半角とし, Roman体とする。

13. 単位は国際単位系 (SI 単位) とする。ただし, C.G.S 単位系による表示も可とする。商 (除法) の表記については商記号 (例: m/s) の使用は極力避け, 負のべき乗表示 (m s^{-1}) で統一することを推奨する。
14. 章番号, 図表番号以外では, 英数字はすべて半角とし, Roman 体を使用すること。
15. 文献を引用する場合は, 以下のように記述する。なお, 同じ著者が同一年に発表した異なる論文を引用する場合は, 発行年の後に a, b, c... を付す。著者が複数にわたるときは, 3 名以上の場合に限り第一著者のみ記し, 残りの者については和文の場合は「ら」, 英文の場合は“et al.”とする。

(例 6) ... という指摘がある (中村, 1998a; 田中・佐藤, 2001; Ikeda et al., 2001)。

(例 7) ... と言われている (中村ら, 1995; Tanaka and Kuroda, 2000)。

16. 引用文献は本文に続いてまとめて表記し, 著者名のアルファベット順で表記する。著者は全員の名前を表記することとし, et al.等を使用して簡略化してはならない。英文表記の場合, Given Name はイニシャルを使用するものとする。引用文献の書き方は次のように定める。ただし, 雑誌の場合は論文名を省略することができる。また, 単行本および翻訳書の場合で引用箇所の明記が困難な場合には引用ページを省略することができる。なお, 英文の雑誌名と書籍名はイタリック体とする。

- (1) 雑誌の場合は著者名, 論文名, 雑誌名, 巻号, ページ, 発行年の順とする。

(例 8)

引用文献

- 1) 猪迫耕二: 鏡面冷却露点法を用いたサイクロメータによる土壌の水ポテンシャル測定, 日本砂丘学会誌, 50 (2), 75-79 (2003)
- 10) Inosako, K., F. Yuan and S. Miyamoto: Simple methods for estimating outflow salinity from inflow and reservoir storage, *Agr. water management*, 82, 411-420 (2006)

- (2) 単行本の場合は, 著者名 (編者名), 書名, 出版社名, 発行地, 年, 引用ページの順とする。

(例 9) 林眞二: 梨, 朝倉書店, 東京(1960) pp.4-20

(例 10) Hillel, D.: *Soil and Water*. Academic Press, New York and London (1971) pp.225-239

(例 11) 日本土壌肥料学会編: 塩集積土壌と農業, 博友社, 東京(1991) pp.127-148

(例 12) Jackson, W.A. and R.J. Volk: Nitrate transport processes and compartmentation in root systems, In: Lyons J. M., R. C. Valinitine, D. A. Phillips, D. W. Rains and R. C. Huffaker (eds.) *Genetic Engineering of Symbiotic Nitrogen Fixation and Conversion of Fixed Nitrogen*, Plenum Press, New York (1981) pp.517-532

(3) 翻訳書の場合は、原著者名、書名、翻訳者名、出版社、発行地、年、引用ページの順とする。

(例 13) ガルピッツ, K. ・ゲーリッヒ, H. : 農業機械学演習, 石原昂訳, 明文書房, 東京(1968) pp.100-112

(4) Web ページを引用する場合は、URL と確認年月日を明記する。

(例 14) Land Resources, Land degradation assessment at <http://www.fao.org/nr/land/degradation/en/> (2014.Apr.20)

(例 15) 山中典和: 知りたい世界の今, 乾燥地での緑化の取り組み, http://www.teikokushoin.co.jp/journals/geography/pdf/201102gs/04_hsggbl_2011_02gs_p07_p08.pdf (2014.Apr.20)

16. 必要があれば注を付けることができる。

17. 欄外見出しは、著者に一任する。ただし、刷り上がり 1 行以内とする。

英文原稿の執筆要項

本要項に準拠していない原稿は受稿を拒否する場合がありますので、熟読の上、原稿を作成すること。

1. 原稿はできるだけ簡明とし、図・表なども含めて、B5版刷り上りで原著論文、総説、研究資料、技術レポート等は8頁以内、ノートは4頁以内、速報は2頁以内とする。
2. 本文は、1行60文字、1頁25行に印字し、5行毎に行番号を付ける。また、図・表の挿入箇所を余白に指定する。ただし、書体はTimes New Roman体とする。
3. 論文原稿の形式は、①1頁目に英文表題、英文著者名、英文所属を記述する。②2頁目に英文摘要および英文キーワード5個(アルファベット順)を記述する。③3頁目から本文を開始する。なお、ここでいう本文とは、緒言、材料および方法、結果、考察、結論あるいは要約、引用文献を含む。④図・表を1枚ずつ独立させて印刷する。なお、図・表には表題も付ける。⑤和文タイトル、和文著者名、和文所属、和文摘要、和文キーワード(50音順)を記述する。
なお、総説、研究資料、技術レポート等の原稿は特に形式を定めない。
4. 表題(特に副題)は研究内容をなるべく具体的に表す。副題番号はローマ数字とする。著者名には所属名の前に付記したものと一致する番号を上添でつける。なお、責任著者(Corresponding author)には番号の後に*を挿入する。また、英文著者名には著者が慣用しているスペルを使用する。英文著者名はGiven name, Family nameの順とし、Family nameは大文字とする。

(例1)

表題: Studies on the forms of humus accumulated in volcanic ash soils

副題: III. Relation between form of humus and soil acidity

著者名: Takeo NAGAI¹ and Taro SAKYU^{2*}

5. 著者の所属機関名と所在地の記述は次の表現を原則とする。

(例2) 上記3. ①に記述する英文所属

1 The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)

2 Faculty of Agriculture, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)

* Corresponding author, taro_sakyu@jssdr.co.jp

(例3) 上記3. ⑤に記述する和文所属

1 鳥取大学農学部 (〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101)

2 鳥取大学大学院連合農学研究科 (〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101)

* 責任著者: taro_sakyu@jssdr.co.jp

6. Summary は目的、方法、結果、考察などが忠実に要約されたもので、250語以内の英文とする。

7. 章や節の表題の書き方は(例3)を参照する。章の表題はセンタリング、節からは左寄せとする。章番号と節番号の間は1行空ける。章と節の表題と番号の付け方は以下の例の通りとし、太字とする。

(例3) <div style="text-align: center;">2. Method</div> 2.1 Material 2.1.1 Sampling points (1) Soil 1) Sand

8. 数式の扱いは以下の通りとする。

(例4) This relationship can be expressed in Eq.(1). $y = ax + b \qquad (1)$
--

9. 図(写真を含む)・表の表題、内容の説明は、本文を参照しなくても実験条件がわかる程度に簡潔に記載する。表題、図表番号は太字で、**Fig.1**、**Table1**のように表記する。また、本文中で図表を引用する場合も太字で表記する。

図表はB5版2段組の片側の段幅(7cm)、あるいは1頁の幅(15cm)となる。このことを考慮して縮小幅を指定する。なお、図および表中の文字が縮小後8ポイント以下にならないように注意して図・表を作成すること。

10. 表の書式は(例5)の通りとし、縦線・横線は必要最小限とする。

(例5)								
Table1 Maximum and minimum of parametrs								
Para-	Masa-soil(A)		Masa-soil (B)		Tottori sand dune soil		Simajiri Marji	
meters	max.	min.	max.	min.	max.	min.	max.	min.
θ	0.2	0.01	0.1	0.01	0.05	0.01	0.4	0.2
α	2.0	0.005	1.0	0.05	1.0	0.005	1.0	0.05
n	5.0	1.0	5.0	1.0	7.0	1.0	3.0	1.0

11. 簡条書きには、(a), (b)を使用する。
 12. 単位は国際単位系(SI単位)とする。ただし、C. G. S単位系による表示も可とする。

13. 文献を引用する場合は、以下のように記述する。なお、同じ著者が同一年に発表した異なる論文を引用する場合は、発行年の後に a, b, c・・・を付す。著者が複数にわたるときは、3名以上の場合に限り第一著者のみ記し、残りの者については”et al.”とする。

(例 6) ・・・・(Nakamura, 1998a; Tanaka, 2001).

(例 7) ・・・・(Tanaka and Kuroda, 2000; Ikeda et al.,2001).

14. 引用文献は本文に続いてまとめて表記し、著者名のアルファベット順で表記する。著者は全員の名前を表記することとし、et al等を使用して簡略化してはならない。英文表記の場合、Given Name はイニシャルを使用するものとする。引用文献の書き方は次のように定める。ただし、雑誌の場合は論文名を省略することができる。また、単行本の場合で引用箇所の明記が困難な場合には引用ページを省略することができる。なお、雑誌名と書籍名はイタリック体とする。

- (1) 雑誌の場合は著者名，論文名，雑誌名，巻号，ページ，発行年の順とする。

(例 8)

References

- 1) Inosako, K., F. Yuan and S. Miyamoto: Simple methods for estimating outflow salinity from inflow and reservoir storage, *Agr. water management*, 82, 411-420 (2006)

- (2) 単行本の場合は、著者名（編者名），書名，出版社名，発行地，年，引用ページの順とする。

(例 9) Hillel, D. : *Soil and Water*. Academic Press, New York and London (1971)
pp.225-239

(例 10) Jackson, W.A. and R.J. Volk: Nitrate transport processes and compartmentation in root systems, In: Lyons J.M., R.C. Valinitine, D.A. Phillips, D.W. Rains and R.C. Huffaker (eds.) *Genetic Engineering of Symbiotic Nitrogen Fixation and Conversion of Fixed Nitrogen*, Plenum Press, New York (1981) pp.517-532

- (3) Web ページを引用する場合は、URL と確認年月日を明記する。

(例 11) Land Resources, Land degradation assessment at <http://www.fao.org/nr/land/degradation/en/> (2014.Apr.20)

15. 必要があれば注を付けることができる。

16. 欄外見出しは、著者に一任する。ただし、刷り上がり 1 行以内とする。

付 記

デジタル原稿の手引き

(Microsoft Office で読み取れるもの)

1. 受け付けるファイル形式

(1) 「文字」データについて

テキストデータ (拡張子: TXT), Microsoft Word データ (拡張子: DOC, DOCX)

(2) 「表」データについて

Excel データ (拡張子: XLS, XLSX) あるいは Microsoft Word に貼り付けたもの (拡張子: DOC, DOCX)

(3) 「写真」データについて

画像データ (拡張子: TIF, JPG, EPS, BMP)

(4) 「図」データについて

Microsoft Word に貼り付けたもの (拡張子: DOC, DOCX)

2. 「図」・「表」・「写真」の標準サイズ

印刷仕上がりサイズは「幅 7cm」と「幅 15cm」の2種類とする。

※標準サイズ以外のは、原稿に縮尺率を明記し提出する。

3. 「図」・「写真」の解像度およびピクセル

(1) 解像度は 350dpi 以上

(2) ピクセルは 1200×900 以上

4. デジタル原稿の媒体

下記電子媒体のうち、いずれかを選択すること。なお、Windows のみの対応となるため、Machintosh の場合は事前に下記まで相談すること。

endo@muses.tottori-u.ac.jp (担当: 遠藤)

(1) CD-R : Windows 用 ISO9960 形式

(2) DVD-R : Windows 用 ISO 9660, Universal Disk Format 形式

Instructions for Contributors of English Papers

Sand Dune Research is the official journal of the Japanese Society of Sand Dune Research (JSSDR), and publishes original research findings and reviews on sand dune, dryland and related subjects.

1. Qualification of contributors.

The first author and the corresponding author of the manuscript are required to hold membership in the JSSDR. In case of joint work, there is no objection to including coauthors other than individual members.

2. Types of manuscripts.

There are six types of manuscripts: original papers, notes, brief paper, reviews, technical reports and research materials. All papers should be related to sand dune or dryland. Contributions are classified into six types as follows, and authors should indicate the type of manuscript on submission.

Original papers: Full-length papers are research articles that contain new and significant findings contributing to the understanding of sand dune and dryland development and are defined as the concise reports based on original research with conclusions worthy of publication. It limited to eight printed pages, including references, tables and figures. It should not have been published in any other journals.

Notes: There are brief and rapid reports on new findings of academic and/or technical matters related to sand dune and dryland. Manuscripts for brief reports must not exceed four printed pages. They are not intended to publish preliminary results or to be a reduced version of full-length papers. Rapid reports should contain new findings or improvement of exceptional interest and novelty for which require quick publication. It should be submitted as full-length paper later. Manuscripts for rapid reports must not exceed two printed pages. The paper should have a summary in English. This summary should state the purpose, outstanding points, and results. The summary in Japanese is also required. The paper should have key words (within five) in English on which are placed just after the summary. The paper should be written in a sequence like introduction, materials and methods, results, discussion, conclusions, acknowledgement and literature cited, it necessary.

Brief paper: Short papers are intended to present significant new information to readers of the Journal in a short even if not complete form. Manuscripts for brief papers must not exceed two printed pages.

Reviews: Includes an extensive review of a specific subject, or a review of a contemporary development or an issue focused on a certain area. It limited to eight printed pages. The Editorial Committee may request members of the Sand Dune Research or a suitable non-member (Japanese or foreign scientist and expert) to contribute a review to the Journal.

Technical reports: It limited to eight printed pages, including references, tables and figures.

Research Materials: It limited to eight printed pages, including references, tables and figures.

Designation of the manuscript: Papers in any of the following fields will be considered, and authors are requested to designate their manuscript according to one of these divisions on submission.

- 1) Agricultural Science
- 2) Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry
- 3) Forest Science

- 4) Agricultural Engineering
- 5) Agricultural Economics
- 6) Others

3. Approval for publication.

The decision on approval for publication or not will be made by the Editorial Committee of the JSSDR. The Committee may request the author to revise the manuscript when necessary. Authors will be requested to revise their manuscript according to the reviewers' suggestions, comments and criticisms. The revised manuscript must be returned within six months. Manuscripts should be written in a clear, concise, direct style so that they are intelligible to the professional reader who is not a specialist in the particular field.

4. Costs to authors.

A publication fee of ¥4,000 per printed page within the range allowed and ¥10,000 for each additional half page is required. A form requesting payment will be sent with your proofs. There are no publication fees for manuscripts invited by the Editorial Committee. Art papers for the reproduction of photographs (monochrome and color) may be used at the actual expenses. Pdf files of reprinted articles are presented to authors for free. Authors can purchase their reprinted articles with reprint charge (¥10,000) of 30 copies. When authors hope to purchase more than 30 copies, the cost becomes (excess copies) × (pages of the article) × (¥10).

5. Manuscripts.

The manuscript should be typewritten with double spacing and wide margins (60 letters × 25 lines). Line numbers should be added at every 5 lines in the left margin. The font should be representative Times New Roman.

Manuscripts should be presented in the following order: (1) title page, (2) abstract and key words, (3) text, (4) tables (each table complete with title and footnotes) and (5) figures. Number all pages consecutively including tables and figures. We recommended that authors prepare the text as a Microsoft Word file.

Title page: The first page must be submitted include on the complete manuscript title, authors' full names, and address for correspondence. The title and subtitle should be expressed the content of the research as concretely as possible. The subtitle number is putted Roman numeral. Authors' full name should be written given name, then family name. Family name should be written in capital letter (See ex. 1). The address for correspondence should be written as ex. 2. Corresponding author's name should be assigned by an astral mark “*” after affiliation number.

(ex. 1)

Title: Studies on the forms of humus accumulated in volcanic ash soils

Subtitle: III. Relation between form of humus and soil acidity

Authors: Takeo NAGAI¹ and Taro SAKYU^{2*}

(ex. 2)

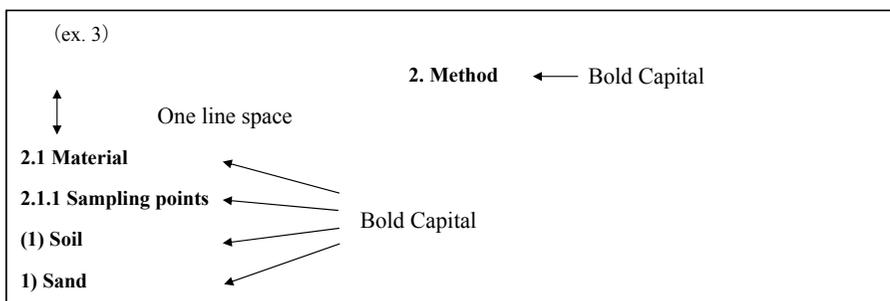
¹ The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)

² Faculty of Agriculture, Tottori University (4-101, Koyama-cho Minami, Tottori, 680-8553, Japan)

* Corresponding author: taro_sakyu@jssdr.co.jp

Abstract and Key Words: The second page must be submitted include on abstract that limit to 250 words. It must be factual and comprehensive. And it must be listed five key words. Five key words (for the purposes of indexing) should be supplied below the abstract in alphabetical order. It must be submitted text from the third page.

Texts: Texts are usually organized into five main headings: Introduction, Materials and Methods, Results and Discussion, Conclusion, and References. The primary headings (Introduction, Materials and Methods, etc.) are centered on the page. From the secondary headings, it should be adjusted to the left-hand margin of the page. Heading should be written by bold. It should be typewritten with one line spacing between the number of the primary headings and the secondary headings (See ex. 3).



Report data in SI units or C.G.S. units. All figures and tables should be separate manuscript page after the references. Define abbreviations at first mention in text and in each table and figure.

It should be also submitted the Japanese information which contains manuscript title, authors' full names, address for correspondence, abstract and key words.

Equations: Chemical and mathematical equations are to be set from the text above and below by centering on the line, provided with a sequence number in parentheses, such as (1), and with each new symbol defined immediately below in the text (See ex. 4).

(ex. 4)

This relationship can be expressed in Eq. (1).

$$y = ax + b \quad (1)$$

References: The Harvard (author, date) system of referencing is used. In the text give the author's name followed by the year in parentheses: Smith (2005). If there are two authors use 'and': Smith and Jones (2006). When reference is made to a work by three or more authors, the first name followed by et al. should be used: MacDonald

et al. (2005). If there are several listings for the same author in the same year, then add a, b, c after the year of publication (See ex. 5 and 6).

(ex. 5) (Nakamura, 1998a; Tanaka, 2001).

(ex. 6) (Tanaka and Kuroda, 2000; Ikeda et al.,2001).

All references cited should be listed at the end of the paper in the references section. In the references section, references should be listed in alphabetical order. Reference list must be given full details in the references at the end of a paper. For periodicals give all authors' names, title of article and full name of periodical, together with volume number, full page numbers and year of publication (See ex. 7). For articles or chapters in books give editor(s), the book title, publisher, place of publication, year of publication and page numbers (See ex. 8). Do not cite unpublished documents other than theses. Web site information might be listed with cited date, if necessary (See ex. 9).

(ex. 7)

References

↑
↓
One line space

- 1) Inosako, K., F. Yuan and S. Miyamoto: Simple methods for estimating outflow salinity from inflow and reservoir storage, *Agr. water management*, 82, 411-420 (2006)

(ex. 8)

- 2) Hillel, D. : *Soil and Water*. Academic Press, New York and London (1971) pp.225-239
- 3) Jackson, W.A. and R.J. Volk: Nitrate transport processes and compartmentation in root systems, In: Lyons J.M., R.C. Valinitine, D.A. Phillips, D.W. Rains and R.C. Huffaker (eds.) *Genetic Engineering of Symbiotic Nitrogen Fixation and Conversion of Fixed Nitrogen*, Plenum Press, New York (1981) pp.517-532

(ex. 9)

- 4) Land Resources, Land degradation assessment at <http://www.fao.org/nr/land/degradation/en/> (2014.Apr.20)

Footnotes: You might add footnotes, if necessary.

Running title: The running title is left to the author. However, it should be within the one line.

Figures and Tables: Prepare all figures and tables separately and do not insert them in the text. Number them and give them titles. Please provide good quality copies of figures. They should be prepared for this reduction and also take into account the page size of journal. Final size illustrations can either be single column (70mm), double column (150mm). Lettering should be more than 8 fonts when reduced. The journal accepts for publication color figures that will enhance an article. Authors who submit color figures will receive an estimate of the cost for color reproduction. The location of tables and figures in the text should be indicated with red ink in the right margin. The vertical and the horizontal lines should be put a minimum requirement (See ex. 10).

(ex. 10)

Table 1 Maximum and minimum of parameters

Para- meters	Masa-soil(A)		Masa-soil (B)		Tottori sand dune soil		Simajiri Marji	
	max.	min.	max.	min.	max.	min.	max.	min.
θ_c	0.2	0.01	0.1	0.01	0.05	0.01	0.4	0.2
α	2.0	0.005	1.0	0.05	1.0	0.005	1.0	0.05
n	5.0	1.0	5.0	1.0	7.0	1.0	3.0	1.0

6. Submission procedure.

Manuscripts should be submitted to the editors on an original and three copies (articles except for original papers are required one copy only) with a contribution card should be sent to the Editorial Committee of the JSSDR, c/o Faculty of Agriculture, Tottori University. Minami 4-101, Koyama, Tottori 680-8553, Japan.

Authors should give the following items on the contribution card: (1) Authors name, (2) Address, telephone number, facsimile number, mail address for corresponding author, (3) Title of paper, (4) division, (5) Page number of the text including Summary and Literature cited, (6) Number of the tables and figures respectively, (7) Reprint number, (8) Short running title and (9) Others. A short running title should also be provided within one line.

7. Digital manuscript.

Authors must also send CD-ROM or DVD-ROM. We accept your manuscript in electronic versions as follow; Main Document: TXT or DOC, DOCX format. Tables: XLS, XLSX or DOC, DOCX format. Figures: DOC, DOCX format. Pictures: TIF, JPG, EPS or BMP format. Tables, figures and pictures should be created in the same size you wish them to be printed in the following resolution: Single column should be less than 70 mm wide. Double column should be less than 150 mm wide. Please indicate rate of reduced scale and place each should be printed. Resolutions and pixels of figures or pictures are bigger than 350dpi and 1200×900, respectively.

8. Copyright.

The Authors transfer all copyrights of the final form of the manuscripts including rights of its publication in any form to the JSSDR.

論文審査の基本方針

1. 審査の基準

次の項目に照らして審査し、掲載の可否を判定します。

- (1) 新規性：論文の内容が、公知、既発表、既知のものでなく、独創性を有すること。
- (2) 有用性：論文の内容が、学術的に、あるいは実用上で価値があること。
- (3) 信憑性：論旨が通っており、結果、結論等を信頼するに十分な根拠があること。
- (4) 表現・構成：論文は、簡潔、明瞭に記述され、其の内容に誤りがなく、しかも投稿規定に定められた通りに構成され、記述されていること。

2. 審査の重点の置き方

論文は、新規性の高いことが第一ですが、有用性が極めて高い場合には、新規性はそれほど高くなくてもよいこととします。また、断片的な知見であっても、新規性・有用性の高いものは、論文として扱います。

3. 審査員

投稿された論文は、二人の審査員によって審査されます。審査員は、編集委員会において決定されます。審査員の氏名は公表しません。著者との連絡は全て編集委員会が行います。

4. 審査の結果

論文は、上記の各項目に照らして審査され、次のいずれかに判定されます。

- a. そのまま掲載可
- b. 指摘の点が修正されれば、そのまま掲載可
- c. 指摘の点が修正された後、再閲読する
- d. 掲載不可

なお、二人の審査員による結果が著しく異なり、判定が困難な場合には、もう一人（三人目）の審査員によって審査し、判定します。dと判定された場合には、その理由が示されます。

5. 審査済原稿の取り扱い

審査を完了した原稿（受理原稿）の印刷段階での脱字・誤字・レイアウト・体裁に関する校正は、著者と印刷所との間で電子媒体を活用するなどの方法によって、著者の責任のもとで直ちに行うこととする。印刷段階での、原稿の内容に関わる訂正は認めない。内容に関わる訂正が生じた場合は、再審査に付すこともある。